

12月定例議会

行政報告(2)

平成20年12月定例議会は、12月9日に開会、12月19日までの会期で開かれました。議会初日には、行政報告と上程された各議案の大綱質疑、また11日、12日には一般質問が行われました。この後、各常任委員会で付託された議案を審議し、19日の最終日に採決が行われました。前号から引き続き12月定例議会の行政報告についてお知らせします。

建設部・水道課関係

■都市計画課

都市計画道路・太田川口線(元町工区)整備事業における、用地取得等の11月14日現在の進捗率は、件数比86%、金額比95%です。

本体工事については、11月下旬に排水工に係る第1期分を発注しており、起点部交差点(元町地内)の箱形函渠の詳細設計が完了し、引き続き第2期工事を発注予定です。

阿仁合団地(仮称)整備事業は、市内の建築設計事務所を対象にプロポーザル方式による選考を進めており、12月下旬を目途に基本設計業務委託契約を締結する予定です。

■建設課

地方道路交付金事業の平里線道路改良工事は、旧橋撤去工を発注しました。濁水期である冬期間に施工し、3月末完了の予定です。辺地対策事業債で平成17年度から

整備を進めてきた小様三枚線改良工事が完成し、小様字土倉川向から小様字関根袋までの880メートルが車道幅員5・5メートルに拡幅改良されました。昨年の豪雨による災害復旧工事については、平成20年度発注の41件が完成し、平成19年とあわせて80件、約4億1900万円の事業が全て完了しました。



▲市内各所で順次進められ、すべての事業が完了した豪雨による災害復旧工事

■下水道課

公共下水道事業における工事の発注状況については、鷹巣処理区において、舗装復旧工事1件、面整備工事1件、汚水幹線工事1件、合川処理区において、面整備工事1件、米内沢処理区において、面整備工事2件、阿仁合処理区において、舗装復旧工事をそれぞれ発注しています。農業集落排水事業における工事の発注状況については、道城地区において、処理施設土木建築工事、本管布設工事の2件を発注しています。

■水道課

上水道事業については、浄水場耐震補強・改造工事及び浄水場資材倉庫建設工事・深閑沢地区増圧工事・鷹巣橋添架管補修工事の4件は完成しています。また、平崎上岱地区配水管布設工事を発注しています。簡易水道については、鷹巣地区の中谷地区配水管布設工事が完成しています。阿仁地区については、萱草地区の災害復旧工事を発注しています。

消防本部関係

■常備消防

8月から10月までの火災、救急等については、建物火災が5件、その他火災3件、損害額は439万1000円で、昨年同期の件数で5件増

損害額で21万8000円の増です。救急出動は299件で昨年同期38件の減、搬送人員は280名です。事故種別では急病が200件で昨年同期24件の減、一般負傷が33件で同6件の減、転院搬送が33件で同4件の増、交通事故が22件で同4件減などです。救助出動件数は、10件その内3回の活動で3名を救出しています。職員研修については、東京都内の救急救命士養成研修所で9月9日から来年3月23日までの予定で1名が研修中です。

住宅用火災警報器設置推進事業補助金交付状況については、10月末現在51自治会から交付申請があり、1668世帯、交付金額が42万6000円です。10月22日には共同購入に至っていない自治会を対象に、早期共同購入の取り組みを依頼し、また共同購入済の自治会については、補助金の交付申請を依頼する文書を送付しています。

■非常備消防関係

秋の火災予防運動初日の11月2日、消防団各支団がそれぞれの地区で放水訓練、中継訓練を実施しました。また、火災防止及び住宅用火災警報器設置促進に関するチラシ配布を行っています。

教育委員会関係

■総務課

長期山村留学「まとはび学園」では、収穫祭が行われ、学園生や地域の方それに卒園生も加わり、今年1年の収穫を喜び合い感謝しました。また、学園生からは自主研究の成果や様々な体験活動の発表も行われました。「あきたリフレッシュ学園」では、11月に入り3人(延べ7人)の園生を迎え、事業を展開しております。県内外からの問い合せや施設見学も多くなっており、今年PRの年と位置付け、県と連携しながら事業を進めています。



▲今年1年の自主研究や体験活動を発表した「まとはび学園収穫祭」

■義務教育課

9月に市発明工夫展が開催され、ユニークなアイデアが盛り込まれた作品41点の応募がありました。鷹巣南小学校4年佐藤響さんの市長賞

「シップ楽にはれくる」をはじめとする5人の児童の作品が特別賞に輝きました。全県中学校新人ソフトテニス大会では、森吉中学校男子が準優勝、女子が3位と活躍しました。全県駅伝大会の男子の部で鷹巣中学校3位、女子の部で阿仁中学校が3位、合川中学校が6位に入賞し、東北大会への出場を果たしました。

10月には浦田小学校、合川北小学校の学習発表会を皮切りに、各小・中学校では学習発表会や文化祭が開催され、児童生徒の学習成果の発表を賑やかに地域の方々に公開しました。

■高校教育課

10月に合高祭が行われました。前夜祭では、生徒による路上ダンス・根子番楽・合高万灯火が行われ、多くの地域市民に披露しました。市教育委員の学校訪問と、県指導主事要請訪問を実施しました。授業内容はもちろん、指導者の取り組み方、生徒への接し方、学校運営の状況についても意見交換しました。

全校生徒が内陸線を利用し、田沢湖芸術村で芸術鑑賞教室を実施しました。

■生涯学習課

文化庁は、北秋田市の伊勢堂岱遺跡を含む「北海道・北東北の縄文遺跡群」など5件を世界文化遺産暫定

リストに追加することを発表しました。今後は、文化庁や秋田県の指導を受けながら、世界遺産登録に向けて市民と一体となった活動を展開していきます。また、当市本城の金家住宅を国の重要文化財に指定することを文部科学大臣に答申しました。年内には正式に指定される予定です。北秋田市文化祭を開催しました。芸術文化活動に功績があった1団体と3人の方々に市芸術文化功労賞を優れた芸術作品を発表された6人の方々に市芸術文化奨励賞を、授与しました。今年には展示部門を市文化会館で45団体が、展示部門は合川体育館を会場に幼稚園・保育園・小中学校ほか46団体が、それぞれ学習の成果を発表しました。



▲日舞やバレエなど各団体が日頃の練習の成果を披露した「北秋田市文化祭」

■公民館

平成20年度北秋田市花だんコンクール表彰式が行われ、応募18団体・家

庭の中から団体の部は大阿仁小学校が、家庭の部は松尾フミさん(栄)が市長賞に選ばれ、表彰を受けました。また、全県花だんコンクールでは、南鷹巣町内会が農林中央金庫賞を、高村岱老人クラブが秋田県造園協会賞を、大阿仁小学校が秋田の秋田を創る協会賞を受賞しました。阿仁公民館の文化交流のつどいが開催され、日頃の学習成果の発表や郷土芸能の披露など、学びの交流を深めました。

■スポーツ振興課

「第18回北緯40°秋田内陸リゾートカップ100キロチャレンジマラソン」が開催されました。3年ぶりとなる大会には、1都1道2府30県から100キロの部、50キロの部合わせて1476人がエントリーしました。沿道では地域住民が熱心に応援ランナーは実りの秋の黄金色に染まる秋田内陸路をゴールめざして激走しました。100キロの部では、北秋田市の野呂康一選手が歴代4位となる好記録で優勝しました。

「第3回スポーツレクリエーション大会」が、市内各会場で開催されました。パークゴルフ、マラソン、テニス、野球、ユニカール、登山など17競技が行われ、市民約2000人がスポーツの秋のひととき、交流や親睦を深めました。